

第95回 メーデー

声を上げれば変えられる 物価高騰を上回る賃上げを実現しよう 金権腐敗の自民党政変えよう

5月1日、各地で第95回メーデーが開かれました。

●愛知県内では7カ所に2500人が集まり、名古屋市の白川公園で開かれた県中央メーデーには1500人が参加、日本共産党のもとむら伸子衆院議員、すやま初美比例東海ブロック候補、石山淳一県委員長をはじめ、小選挙区予定候補の酒井ケンタロー(2区)、江上博之(5区)両氏や名古屋市議団なども参加しました。

西尾美沙子実行委員長(愛労連議長)は「春闘で成果を上げた仲間がいる一方で中小企業やケア労働者、非正規労働者は置いてきぼりだ、大幅賃上げを勝ち取るために頑張ろう」と訴えました。

◆ 日本共産党が行ったメーデー参加



↑ 愛知県中央メーデー
← 日本共産党の宣伝
↙ 静岡県中央メーデー



加者への激励宣伝では、もとむら議員は、「愛知の保育士や保護者の皆さんが声を上げ、4月から保育士の配置基準を改善できました。声を上げれば政治を変えられます」と訴えました。すやま候補は「裏金の自民党が多額の献金を財界からもらい政治を歪め、労働者の権利が奪われてきた。労働者の皆さんと力を合わせて賃金を引き上げ、中小企業への支援と合わせて最低賃金の1500円以上実現に頑張ります」と訴えました。

●静岡県では県内8カ所で集会が開かれ、県中央メーデーには160人が参加し、県知事選に立候補を表明している日本共産党の、もり大介氏があいさつ。「野党共闘で衆院3補選に勝利した。知事選でも力を合わせれば政治は変えられる。リニア建設は中止、浜岡原発は廃炉の立場を貫き、生活できる最低賃金を求める知事になります」と力強く決意表明し、会場から大きな拍手が送られました。

●三重県は3カ所で開かれ、県中央メーデーには200人が参加しました。日本共産党の吉田あやか県議は「県議会でケア労働者の処遇改善



三重・吉田県議

を求める意見書が全会一致で採択されました。ケア労働者の賃上げは男女の賃金格差の是正になると思います。私も県議会から連帯して頑張ります」とあいさつしました。

●岐阜市の県中央メーデーには25団体、200人が参加し、「仲間がいて一緒に困難を解決して実現できるメーデーです」と開会宣言、集会后、市内をデモ行進しました。



岐阜・恵那地域

静岡県知事選

9日(木)告示、26日(日)投開票
もり大介 予定候補 日本共産党公認

出発式 9時半から JR静岡駅南口
もとむら伸子衆院議員が駆け付けます